

## 別紙

## 公開概要書

受付日	2月22日	回答日	2月28日	担当課	健康増進課
意見等の内容	<p>益田市の小児医療を充実させてほしい。</p> <p>益田市に小児科専門の病院が少なすぎる。益田日赤も生後3か月までの子が特別にフォローしている子しか診てもらえない。休日や夜間の救急時の小児医療体制が不安である。</p> <p>小児科だけは紹介状なしで益田日赤へ受診可能にするべきだ。それが難しいのであれば、休日や夜間も受診可能な小児科病院を益田市に設置するべき。少子化を問題とするのであれば、益田市の子どもの医療体制をもう少し真剣に考えてほしい。</p>				
回答の内容	<p>ご指摘のとおり、小児科医が少ない本市の休日夜間における診療は必ずしも十分とは言えない状況です。益田圏域においては、国が示した小児科医師偏在指数では、相対的医師少数区域に該当しており、今後、少数区域解消のためには医師の増員が必要と把握しております。</p> <p>このことも踏まえ、本市では、地域医療の充実を重要課題として位置付けており、毎年国や県に小児科医の増員の要望を重ねてきております。これには島根大学医学部、県及び医療機関の協力が不可欠ですので、引き続き要望と共に島根大学医学部や病院への支援を継続して行ってまいります。</p> <p>なお、益田圏域から山口県北部にかけて唯一の入院設備を整える益田赤十字病院では、本市の小児救急医療体制において、これまでも大きな役割を果たしていただいております。しかしながら、島根大学医学部小児科の医師の減少によって、小児科医は4名体制から3名体制となっております。そのことにより、市民の皆様の多大なご理解とご協力をいただく中で、外来診療の完全予約制や予防接種件数の制限等の状況が現在も続いています。このことに対しては、島根大学医学部小児科に向く等により、引き続き市の厳しい状況を伝えていきます。</p> <p>また、島根県子ども医療電話相談（#8000）事業や益田市独自の健康医療電話相談（「まずだ健康ダイヤル 24」）の実施により、休日・夜間に小児科医等に相談できる体制を継続し、保護者等の不安解消に繋げてまいります。</p> <p>小児医療は、少子化対策や子育て支援、子どもの発達支援の面からも重要な分野です。今後も島根大学医学部、県及び医療機関等と更に連携を深め、医師確保に向けた取組に努力していきたいと考えております。</p>				